

性とは何か

Variation of Sex

2018年5月11日 生物多様性分科会

入澤仁美

男の子か女の子か

出生時の外性器の判断によって決まる

「男の子」か「女の子か」ということは、出産に立ち会った、医師、助産師によってきめられている

→出生届の性別欄に記載される

※外性器だけで判断ができない場合は、染色体検査による性検査を行うことになる

心の性

あなたは自分を男性だと思っていますか？それとも女性だと思っていますか？

心の性＝Sexual Identity (Diamond 2002)＝「性自認」

男である自分を本当の自分と感じるのか、女である自分を本当の自分と感じるのか、それとも男でもない女でもない自分を本当の自分を感じるのかという主観的な感覚＝「性自認」

こどもの心の性の確立

どのような興味や関心を持ち、どのようなふるまいをする傾向があるかは、こども一人一人違う。

(それぞれ生まれ持った個性・気質がある)

⇒成長していく過程において、自分は「男の子」と呼ばれるグループのメンバーに似ているのか、それとも「女の子」と呼ばれるグループのメンバーに似ているかを探っていく。

それぞれのグループと自分の類似性・非類似性を通して、心の性を確立させていく。

哺乳類の性分化の仕組み

- 哺乳類の胎児は、発達のある時期までは性的に未分化な状態
- 性染色体の組み合わせがXYの胎児は、Y染色体上の性決定遺伝子から「精巣を作れ」という指令がでる
 - 未分化だった性腺が精巣へと変化し、男性ホルモンを分泌開始。
 - 男性ホルモンの働きで、オスの体や脳になっていく
(臨界期 妊娠8～24週)

※男性ホルモンがないと、メスの体になっていく

(=プログラムの初期設定はメス型であり、性決定遺伝子が働き、さらに男性ホルモンが作用しないとオス型に切り替わらない)

性化に関する研究の歴史

1938年 : 胎児期に過剰の男性ホルモンを浴びると、遺伝的には雌のモルモットが雄と同じ性行動を示すようになるという論文が発表される

1959年 : 哺乳類の胎児の脳は、発達のある時期までオスでもメスでもない性的に未分化な状態であり、その後男性ホルモンを浴びることで、胎児の脳は雄方向に分化するという仮説

1964年 : アカゲザルで、上述した仮説を支持する研究が為される

女性・男性の作られ方

- ・胎児期(受精から7週目以降)

性決定遺伝子の指令により精巣や卵巣(性腺)ができ、外性器と内性器ができる

↓出生

- ・幼児期

基本デザインは出来上がった性腺・外性器・内性器をもって生まれてくるが、この段階では生殖機能は十分ではない。

↓思春期を迎える

- ・成年期

第二次性徴が現れる

しかし、このような形に当てはまらない人も存在する。

＝インターセクシュアルという典型的な男女像に当てはまらない人がいる

内性器・外性器の変化

・内性器

受精から6週目までは、未分化な性腺(ウォルフ管、ミュラー管)ができているが、8週目あたりから変化する。XXの胎児は抗ミュラー間ホルモンもテストステロンもないので、ミュラー管が消失せず、女性の内性器(卵管、子宮、膣上部)へと発達していく。

(内性器は、「男性ホルモンがないこと」で女型になる)

・外性器

染色体XYの胎児は受精から7週目くらいに精巣ができる。その後、テストステロンが分泌され、未分化の外性器細胞に到達してDHTに変換され、DHTの働きにより外性器が男性化する。

精巣は受精から26週目に入ると、恥骨付近から陰嚢へと移動する。

男性ホルモン感受性がなかった場合

- 男性ホルモンが作られなかったり、男性ホルモンの感受性がなかったとしたら（体や能の細胞にあり男性ホルモン受容体が機能していなかったら）、脳は女性型になる。

※完全型アンドロゲン不応症

→精巣から分泌される男性ホルモンが働かない

- ・外性器は女性器
- ・体内に精巣があり、短い膣はあるが、女性内性器(子宮・卵管)はない。
- ・出生時から「女の子」として育てられ。女性型の関心や行動を持つ

(Mazur 2005 :156人の遺伝的男児で性別変更の例はなし)

男性ホルモンが過剰分泌した場合

先天性副腎過形成の人の染色体はXX

↓しかし、副腎皮質から過剰な男性ホルモンの分泌

胎児で発症すると、胎児の外性器は男性ホルモンの働きで男性化する。

(子宮と卵管を持っていて、性腺も卵巣であるが、外性器の男性化が進んだ場合には、膣と尿道が一緒になった男性器のような外性器になる)

男女の体つきの違い

- 男性らしい体: 筋肉質、濃い体毛、肩幅に比べて小さいヒップ
 - 女性らしい体: 丸みがある、膨らんだ乳房、大きなヒップ
- = 思春期以降のホルモンの働きによって生じる第二性徴

精巣で精子が作られるようになり、卵巣では卵が成熟し、排卵が生じる。妊娠に備えて子宮が成熟して月経が起こり、哺乳に備えて乳房が発達する。

セックスとジェンダー

- セックス: 生物学的性 (XXかXYか)

※500人に1人はXXでもXYでもない

XO,XY,XYY,XXX,XXXY,XXYY,XXXXYなどさまざまな組み合わせあり

モザイクと言って、体の部位や細胞によって染色体の組み合わせが
違うこともある

インターセクシュアルの人をDisorders of Sex Developmentと呼ぶことが提
唱された時期があったが、「疾患」という言葉を使うべきではないのではな
いかという反論から、Variation of Sex developmentと呼ばれたりする。

- ジェンダー: 社会的・文化的側面から見た性 (出生届、婚姻届)

性同一障害とは

性同一障害

=体の性と心の性が一致しないことに苦痛を感じている状態

↓苦痛を感じていない場合は・・・

トランスジェンダーと呼ばれている

＜アメリカ精神医学会による性同一障害の診断基準＞

- ・反対の性であるという強く持続的な認識がある
- ・自分の性に対する持続的な不快感(心地悪さ)、または自分の性の持つ役割に対する不適切感(違和感)がある
- ・身体的なインターセックスの症状を伴っていない
- ・臨床的に著しいと判断される苦しみを引き起こしていたり、社会的・職業的あるいはほかの重要な領域で健全に機能することの妨げとなっている。

異性愛・同性愛・両性愛

性指向 (Sexual Orientation)

= 男性と女性のどちらかに恋愛感情や性愛を感じるか

男性の同性愛者 = ゲイ

女性の同性愛者 = レズビアン

男性にも女性にも惹かれる = バイセクシュアル

電通のアンケート調査によると、日本人の成人のうち7%が同性愛者

まとめ ヒトの性とは何か

ヒトの性には9段階を踏んで、多様に変化する。9段階とは、先天的に獲得する胎生期の①性染色体の構成、②性腺の構成、③内性器形態、④外性器形態の一次性徴期、次に後天的に獲得する、⑤誕生したとき医者が決定する性、⑥戸籍の性、⑦二次性徴、⑧性自認、⑨性的指向である。

- ①染色体の構成 : X染色体とY染色体の組み合わせの構成をしているか
- ②性腺の構成 : 卵巣、精巣、卵精巣、線状性腺に分化しているか
- ③内性器形態 : 子宮に分化しているか、前立腺に分化しているか
- ④外性器形態 : 陰唇やクリトリスに分化しているか、陰嚢やペニスに分化しているか
- ⑤誕生したとき医者が決定する性 : 女の子なのか、男の子なのか、インターセックス(半陰陽)なのか
- ⑥戸籍の性 : 社会的な性的二元論 戸籍上の男か女かの区別
- ⑦二次性徴 : 月経が発現するのか、勃起して射精するのか、どちらも発現しないのか
- ⑧性自認 : 女性なのか、男性なのか、インターセクショナル(半陰陽者)なのか等
- ⑨性的指向 : 女性を指向するのか、男性を指向するのか、両性を指向するのか、等

「人類の性は男性と女性しか存在しない」という考えは、社会が作り出した思い込みであり、男性と女性の間には多様な性のグラデーションが存在し、「多様な中間性が存在する」という考えが、性に対する正しい認識である。